

ねらわれているのは、  
あなたです。

あなたです。



- おもな運動
- 飲食店、遊技場パトロール
- 街頭啓発（ラルズ前）
- 自動車、住宅診断パトロール

### 12月1日～31日 歳末地域安全運動 年末の犯罪・事故の防止

早いもので今年も残り少なくなりました。なにかと慌ただしい師走は強盗事件、空き巣などの多額の現金を狙った犯罪の発生が予想されます。犯罪や事故に巻き込まれないよう一人ひとりが次のことを心がけましょう。

- 多額の現金をむやみに持ち歩いたり自宅や事務所に置かないようにしましょう。
- 家を留守にする時は必ず施錠を忘れないようにしましょう。
- 自動車から離れる時は必ずエンジンキーを抜き、ドアロックをしましょう。

- 初心者
- 運転者
- 冬の間、峠、橋、トンネル、日陰は凍結していると予測する
- 急ハンドル急ブレーキは避ける
- 4WD車の性能を過信しない

### 交通死亡事故抑止 緊急対策実施中

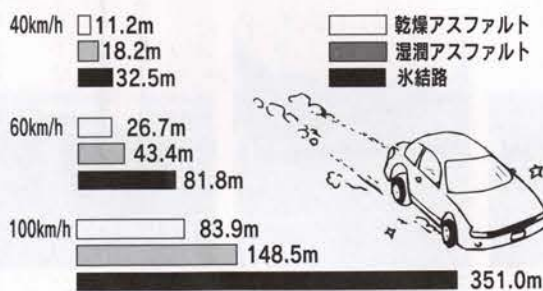
12月1日～12月10日 ●重点

- スリップなどによる交通事故の防止
- 飲酒運転の防止
- スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
- シートベルトの着用の徹底

### ワンポイント・アドバイス

- 初期者
- 運転者
- 冬の間、峠、橋、トンネル、日陰は凍結していると予測する
- 急ハンドル急ブレーキは避ける
- 4WD車の性能を過信しない

### ●速度、路面状態と停止距離



- 冬道は夏場の4倍～8倍も滑ることを念頭に入れて慎重に運転・悪天候の場合は、運転中止の勇氣を
- 経験豊富な運転手から適切なアドバイスを
- シートベルトを確実に装着し、スピードダウン運転に徹する

### 注意

- 冬期間に多く発生しています。踏切に近づいたら路面状況に注意し、確実に一旦停止できるスピードに落しましょう。
- 冬の事故は夏期間の2.5倍も発生しています。
- もし、踏切の中で立ち往生したら、まず列車を止めてください。非常ボタンがなくてもすぐにボタンを押してください。非常ボタンがないときは、車に備えてある発煙筒や赤旗を振ってください。
- もし、踏切内にトリコになったら、遮断機を自動車などで押し出して脱出してください。

医師からのワンポイント

### アドバイス

今回は、小児科の吉田医師に、今流行している症状について聞いてみました。

吉田雅喜医師 (39歳)



プロフィール  
昭和32年8月1日生まれ。  
出身地 函館市  
平成3年札幌医大卒業

今、子どもたちの病気でおもなものは？

「小児科外来でよく見かけるのはA群溶連菌感染症とマイコプラズマ肺炎です。A群溶連菌感染症は主に幼児と小学校低学年に、また、マイコプラズマ肺炎は小中学生を中心に流行が認められます。どちらも伝染性疾患です。」

A群溶連菌感染症とはどんなものですか？

「急性上気道炎（いわゆるカゼ）の原因の約6～7%を占めるといわれています。溶連菌に感染した患者は平均3日で症状が始めます。」

「症状だけではウイルスや他の細菌による上気道炎と区別するのは困難です。」

### 一般的な特徴は？

「咳や鼻水が少なく、高い熱、喉の痛み、腹痛、頭痛があり、時に鮮やかな赤い小さい発疹を認めることがあります。」

「診察のとき、喉をみると赤みが強く、点状の出血斑があったり舌が赤くイチゴ状にみえることもあります。」

### 診断ですぐわかりますか？

「発疹や喉の赤みが強い場合は比較的すぐわかりますが、正確な診断のためには検査が必要です。」

「溶連菌の迅速診断法しており、数分のうちに感染の有無について結果をだせますし、咽頭培養検査で感染の確認をしています。」

治療法は？

「治療は抗生剤の内服が有効で約2週間内服を続けます。」

「溶連菌はヒトからヒトへの飛沫感染ですから、抗生剤の効果が出て菌が喉から消えてしまうとと思われる5日目までは幼稚園や学校は控えるようお願いしています。」

「溶連菌感染による気道炎自体は自然治癒することも多いのですが、上気道炎（カゼ）の症状が出現してから1～4週間後に急性糸球体腎炎やリウマチ熱をまれに発症することがあります。」

それはどうすればわかりますか？

「こちらでは4週目までに数回の尿検査をおこない、腎炎の有無についてチェックをおこなっています。」

「溶連菌感染症は軽く考えられがちですが、さきほど話したような合併症もあるので、正確な診断・的確な治療・その後の観察が必要ですよ。」

「お子さんが溶連菌に感染しているかどうか心配なお母さん、また治療中・治療後で何か心配ごと

がおありのお母さんとはご相談ください。

次にマイコプラズマ肺炎についてお聞きしますが？

「マイコプラズマ肺炎はマイコプラズマと呼ばれる細菌でおこる肺炎です。」

「マイコプラズマ肺炎の流行は以前は4年周期でオリンピック開催の年に流行するといわれていたが、最近は毎年小さな流行が認められるようです。」

「患者は5歳から15歳の学童が中心ですが、近年では低年齢の子どもにも発症があるといわれています。」

症状は？

「症状は高い熱と咳が中心で、他の細菌やウイルスによる肺炎に比べて聴診で異常な音が聞こえるケースが少ないのが特徴です。」

そうすると診断は？

「胸部レントゲン写真で特徴的な肺の陰がでていますので比較的わかります。また、こちらでは血液検査も行って診断をしています。」

治療は？

「治療はやはり抗生剤を用いますが、治療上有効な抗生剤が限られており、的確な抗生剤を選ぶことが必要です。一般的経過はに良

好で治療に良く反応した患者では数日中に症状はよくなりますが、胸膜炎をおこして多量の胸水貯留があるものやいろいろな合併症を併発した場合は経過が長くなることもあります。」

ちよつとこわいですね？

「重症になることは比較的にまれですが、正確な診断と早期の治療が求められます。」

医師からのメモ

お子さんが極端に小さいと思われ悩まれているご両親がいらっしゃいましたら

「最後に成長ホルモン分泌不全性低身長についてお話しします。成長ホルモン分泌不全性低身長とは脳の一部より分泌される成長ホルモンが正常人より少ないためにおこる低身長です。知能や運動面では問題はありませんが、背のびが遅く、身長に対するコンプレックスや学校でのいじめの原因となることがあります。現在は注射によって症状を改善させることができます。治療は小学校低学年よりはじめるのが理想的です。」

自分のお子さんが他のお子さんとは比べ極端に小さいと思われているご両親がいらっしゃいましたら小児科医をお訪ねください。

これから、本格的な冬型事故（スリップ、視界不良など）が多くなり、交差点での出会い頭事故など増加します。

過信をしない。早めの判断。ゆずりあい。体調を整える。

あなたを待っている人がいることを忘れないで!!